

徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の改定について

1 新たな計画の策定

現計画は、平成28年度末をもって4年間の行動計画期間を終えることから、新たな基本計画を策定する。（計画期間 平成29年度～平成32年度まで）

☆次期計画のポイント

- 就業者や生産基盤などの現状分析と本県の課題・強みを整理
- 目指すべき10年後の姿として「もうかる農林水産業の実現」を掲示
- 4年間の最重要課題に「次代を担う人材の育成・確保」を位置付け
- 施策の柱に5つの基本戦略を定め、9つの「重点プロジェクト」を設定
- 「若手タスクフォース」、「現場」からの意見・提言を施策に反映

■次期計画の施策の柱・基本戦略（案）

県民が施策の方向性を「イメージしやすい」施策体系に再構築

I 人を「育む」 ～次代を担う人材への投資～

（主な重点施策）

- ・農林水産3分野のサイエンスを核とした「経営能力の高い人材」の育成
- ・徳島大学と専門高校の連携による「キャリアアップシステム」の構築
- ・障がい者や高齢者等を活用した「労働力確保マッチングシステム」の構築

II 生産を「増やす」 ～市場ニーズや地域特性に応じた生産振興～

- ・地域商社「阿波ふうど」による「マーケット型の産地づくり」の推進
- ・東京五輪・パラリンピックを見据えた「こだわり農産物」の生産拡大
- ・生産拡大に向けた味付やAI・IoT技術等を活用した研究開発の推進

III マーケットを「拓く」 ～需要拡大に向けた販売力強化～

- ・「ターフ・テーブル」による首都圏での県産品の認知度向上と販売拡大
- ・「阿波藍」など徳島ならではの農林水産物を活用した商品開発
- ・ハラル認証や地理的表示制度（GI）を活用した輸出の促進

IV 生産を「支える」 ～強靱な生産基盤の整備

- ・熊本・鳥取地震を踏まえた農業版BCPの改定や施設の老朽化対策
- ・主伐に備えた林内路網の整備、森林境界の明確化や保安林指定の推進
- ・海藻養殖を核とした拠点施設の整備や水産資源の増大を図る藻場造成

V 地域を「守る」 ～活力と魅力にあふれた農山漁村の創出～

- ・「食と農の景勝地」認定を契機としたイノベーションをはじめとする交流促進
- ・「獣種ごとの対策プログラムの策定」による鳥獣被害防止の推進
- ・高温環境に適應した新品種や新技術の開発等による地球温暖化への対応

2 今後のスケジュール（案）

平成29年2月上旬 パブリックコメント等

～

3月上旬 新・基本計画策定